

九電みらいの森プロジェクト

2023年9月17日

公益財団法人九電みらい財団

川崎 勇二

北島 さくら



ずっと先まで、明るくしたい。

- 1 はじめに（財団法人の概要） P 2
- 2 九電みらいの森プロジェクトについて P 7
- 3 候補地選定、決定プロセス P 11
- 4 活動内容 P 16
- 5 今後の展望、課題 P 23

- (1) 設 立：1954年8月27日（旧 公益財団法人九配記念育英会）
2016年5月12日（旧 一般財団法人九電みらい財団）
※2021年4月1日に合併
- (2) 名 称：公益財団法人九電みらい財団
- (3) 所 在 地：福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号
- (4) 代 表 者：代表理事 辻 慎一（九州電力(株)地域共生本部総務部長）
- (5) 事業内容：九州地域に広く貢献することを目的に以下の活動を実施

① 環境活動

九州電力社有林のあるくじゅうエリア（大分県）を中心とした環境保全活動や環境教育活動、九電みらいの森プロジェクト（植林活動）

② 次世代育成支援活動

非営利団体に取り組む次世代の健全育成に寄与する活動を対象とした助成



くじゅう九電の森



間伐体験



デジタル環境教育



森の実験



野焼き活動

輪地切り



本焼き



輪地焼き



希少植物保護



ミマクリシマ植生保護



登山道整備

助成活動（贈呈式）



〈助成対象団体〉 やったろうde高島 さま

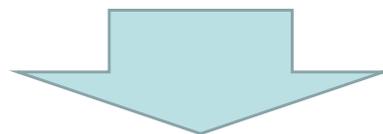
- 1 はじめに（財団法人の概要） P 2
- 2 九電みらいの森プロジェクトについて P 7
- 3 候補地選定、決定プロセス P 11
- 4 活動内容 P 16
- 5 今後の展望、課題 P 23

くじゅう九電の森（大分県由布市）



【目的】

- ・次世代層の環境保全意識啓発（将来に亘り繋いでいく）
- ・地域の皆さまと一緒に取り組むことで、C Nの機運向上に貢献



九州各地に第2のくじゅう九電の森づくり

【概要】

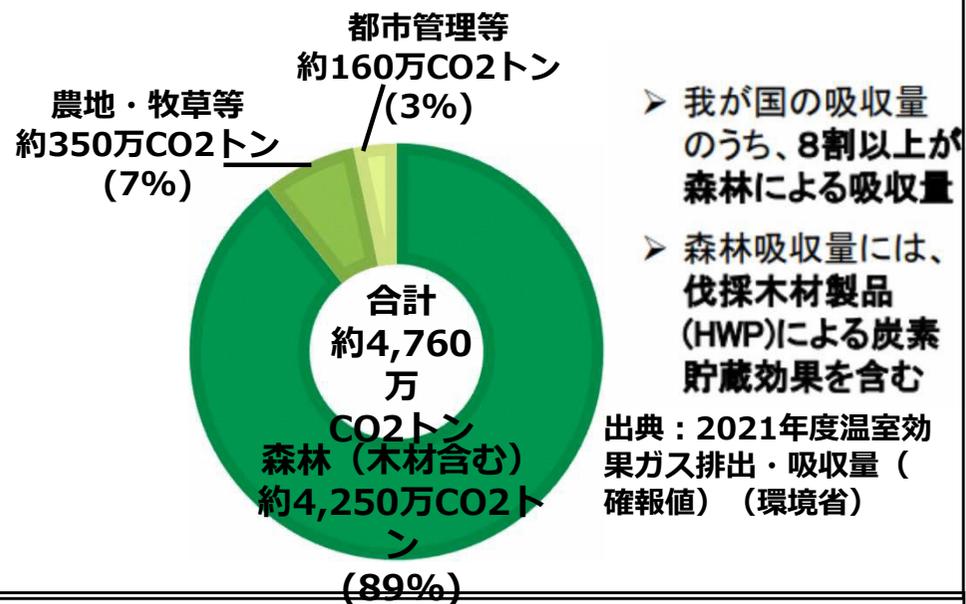
- ・環境教育や市民との交流拠点（地域の憩いの場等）となる森づくり
- ・地域と協働で植林
- ・取組みの各プロセスで、地域の多くの関係者を巻き込み、地域との「絆」と「環境保全意識」を育む

－ 森の役割を子どもたちに教えています －

二酸化炭素を吸収する

【緩和】温室効果ガスの吸収・貯蔵

- ・日本のCO2吸収量のうち大部分は森林が担っている
- ・樹木は長期間にわたって炭素を貯蔵する効果がある



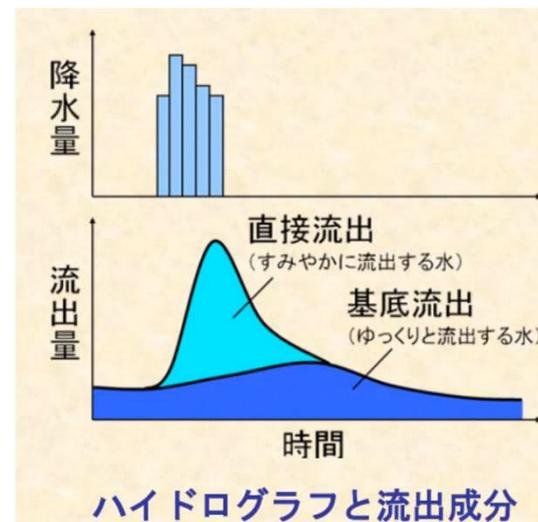
- ▶ 我が国の吸収量のうち、8割以上が森林による吸収量
- ▶ 森林吸収量には、伐採木材製品(HWP)による炭素貯蔵効果を含む

水を貯える

災害を防ぐ

【適応】水害・土砂災害の防止

- ・降雨時における川の流量のピークを低下させ、ピークの発生を遅らせるなどの働きがある
- ・樹木の根が土壌をつなぎとめておくことで、土壌の流出を防ぐ



出典：森林と水の謎を解く（森林総合研究所）

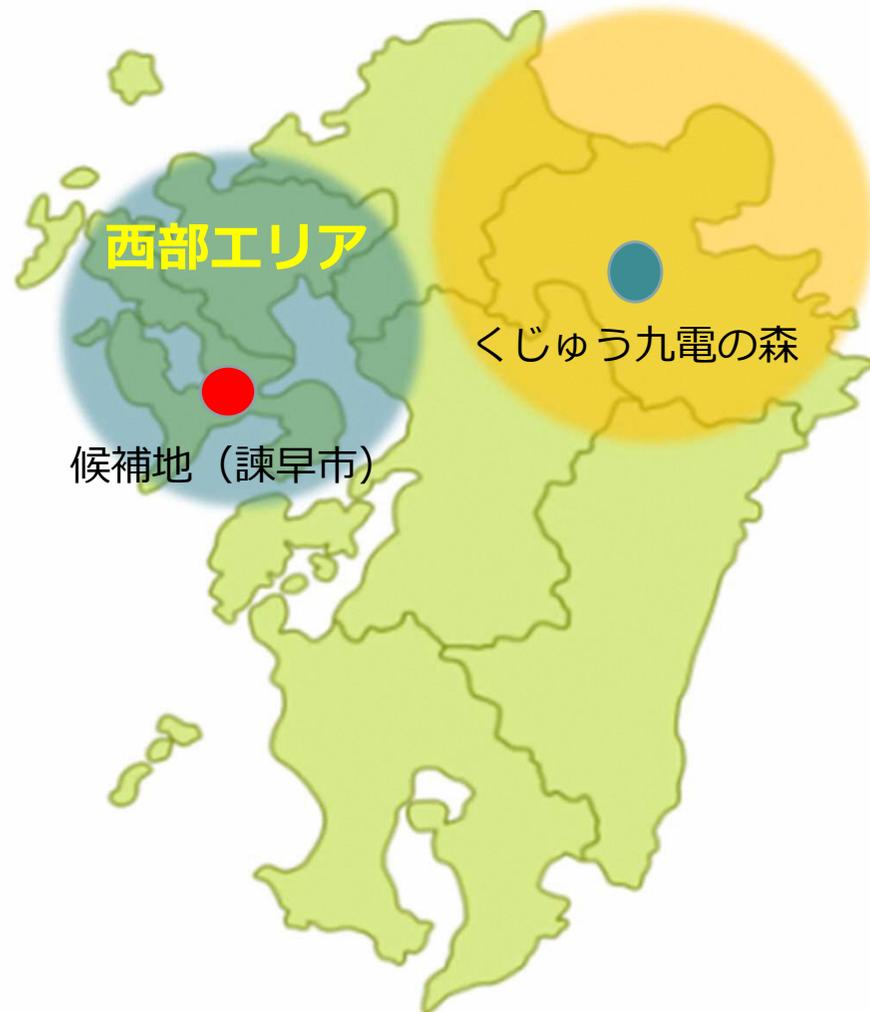
生物多様性保全

保健（リフレッシュ、リラクゼーション）

etc

- 1 はじめに（財団法人の概要） P 2
- 2 九電みらいの森プロジェクトについて P 7
- 3 候補地選定、決定プロセス P 11
- 4 活動内容 P 16
- 5 今後の展望、課題 P 23

～森と海を育む～ 企業の森づくり支援 (長崎県)



「～森と海を育む～ 企業の森づくり」に関する実施方針

平成 22 年 4 月 1 日 制定

平成 24 年 12 月 5 日 改正

第 1 趣旨

近年、企業等の社会貢献活動に対する意識が高まり、森林の保全活動に取り組む事例が増加しているが、企業等の森林保全に関する活動（以下「企業の森づくり」という。）を県が主体となって支援することで、水源のかん養をはじめとした森林の多面的な機能の維持・向上を図るとともに、海に囲まれた本県においては、特に海を育むなど森林の重要性を広く県民に周知することができると思われる。

このようなことから、企業等多様な主体による森づくりを推進することを目的として、企業の森づくりを支援するための実施方針を定める。

■ 候補地選定条件

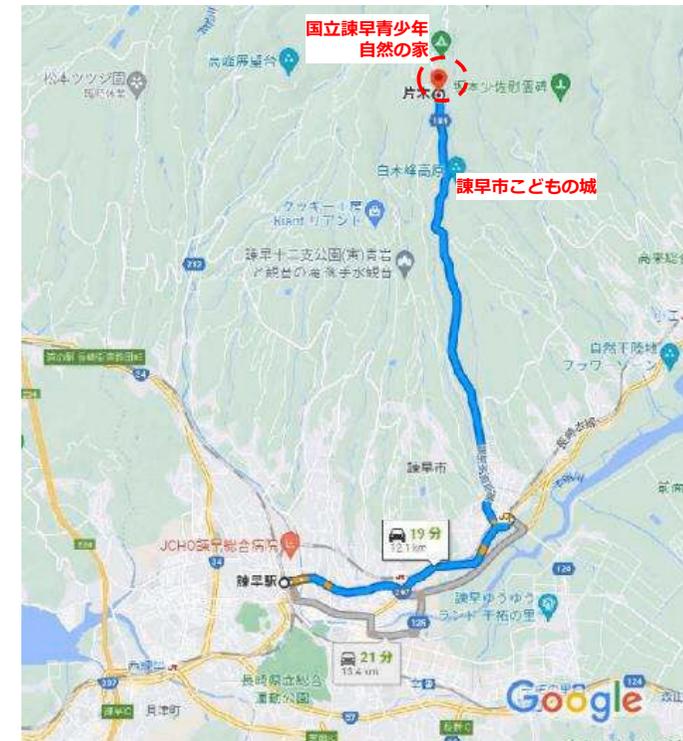
アクセス、面積、植林、協働・連携先、地域の理解etc

■ 候補地調査

主に長崎県森林ボランティア支援センターから複数紹介

■ 諫早市大場町片木地区の「諫早市有地」を候補地に決定

- ・ 約 2 h a の原野、植林可
- ・ 諫早市街地から車で約20分
- ・ 近隣に協働・連携候補先



－ 森づくりの関係者 －

【コーディネーター】

- ・ 長崎県農林部
- ・ 長崎県森林ボランティア支援センター

【土地所有者】

- ・ 諫早市農林水産部

【地域】

- ・ 地元自治会、住民

【協働・連携先】

- ・ 国立諫早青少年自然の家
- ・ 諫早市こどもの城



地元住民説明会（2021年6月）

(整備前)



いさはや九電みらいの森
イメージパース



(森づくりのコンセプト)

– 四季の彩りと 緑がひろがる みらいに繋げる森づくり –

斜面や眺望を活かした森づくり

地域とともに、地形や景観等の資源を最大限活用した2種類の森をつくります

「見て」「歩いて」「体感する」環境教育ができるフィールドづくり

自然を満喫できる園路や環境教育に必要な遊歩道、案内板等を整備します

森を楽しみ、森を学び、森を育む、周辺施設と連携した活動の展開

将来的には、周辺エリアの施設との連携による環境学習プログラムやトレッキングコース設定など、幅広い活動の展開を目指します

- 1 はじめに（財団法人の概要） P 2
- 2 九電みらいの森プロジェクトについて P 7
- 3 候補地選定、決定プロセス P 11
- 4 活動内容 P 16
- 5 今後の展望、課題 P 23

2022年5月11日
森づくり開始!!



森づくり協定書贈呈



記念植樹



環境教育（植林体験）

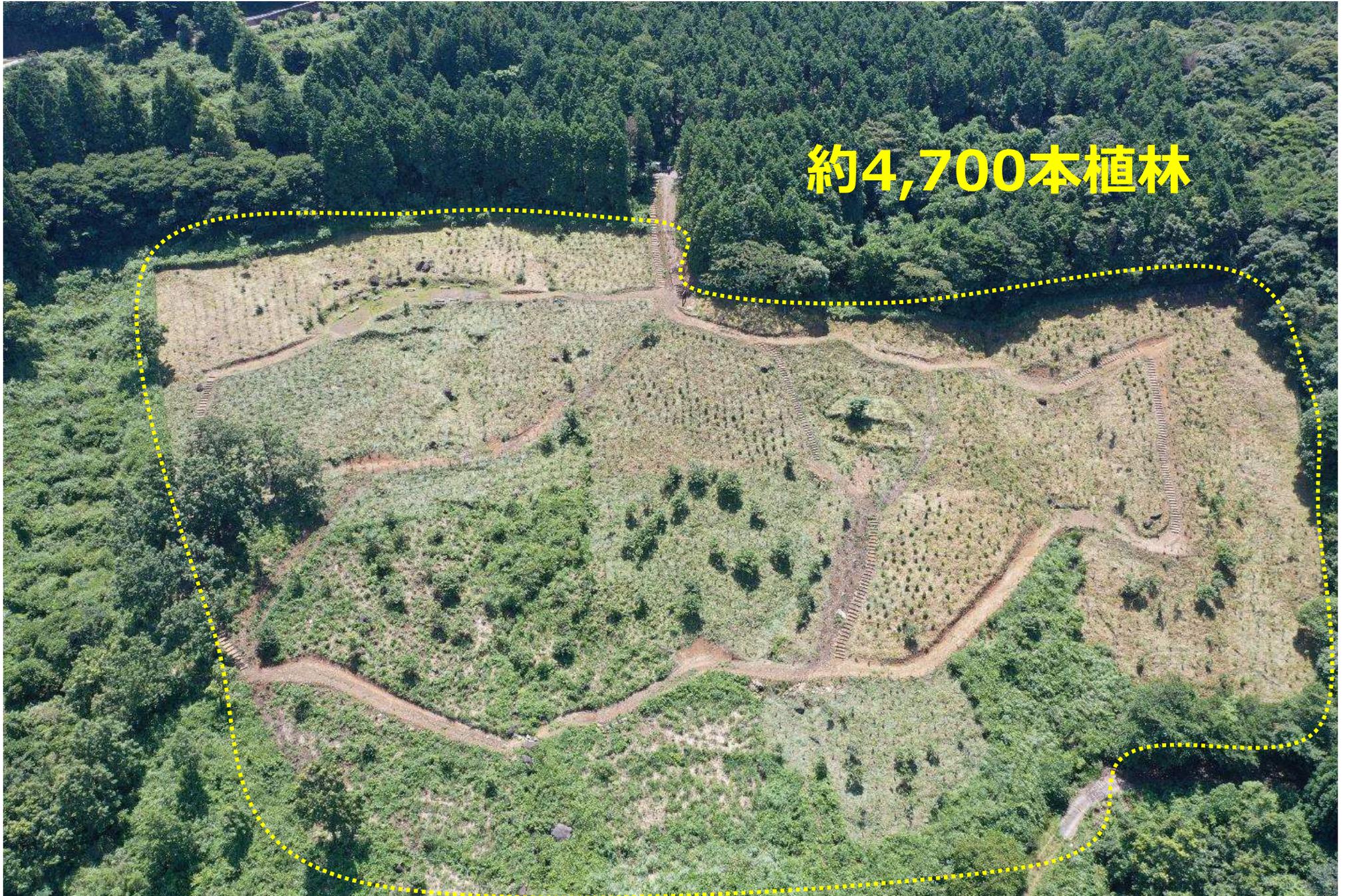
環境教育



地域と協働した活動



国立諫早青少年自然の家や諫早市こどもの城に、運営・設備等全面的にご協力いただき活動しています。



いさはや九電みらいの森の全景（2023年6月植林完了後）

四季を通して五感で楽しめる沢山の樹種を植林しました

彩る広葉樹の森

自然広葉樹の森

タブノキ



ヤブツバキ



クリノキ



ほか
コジイ
アラカシ
スダジイ
ネズミモチ
計7種

ヤマザクラ



イチョウ



サンシュユ



ほか
ウメ
コブシ
クロモジ
ニワトコ
クワ
など計19種

植林した
ヤブツバキ
の苗木
(2023.3)





森のひろば

計画平面図



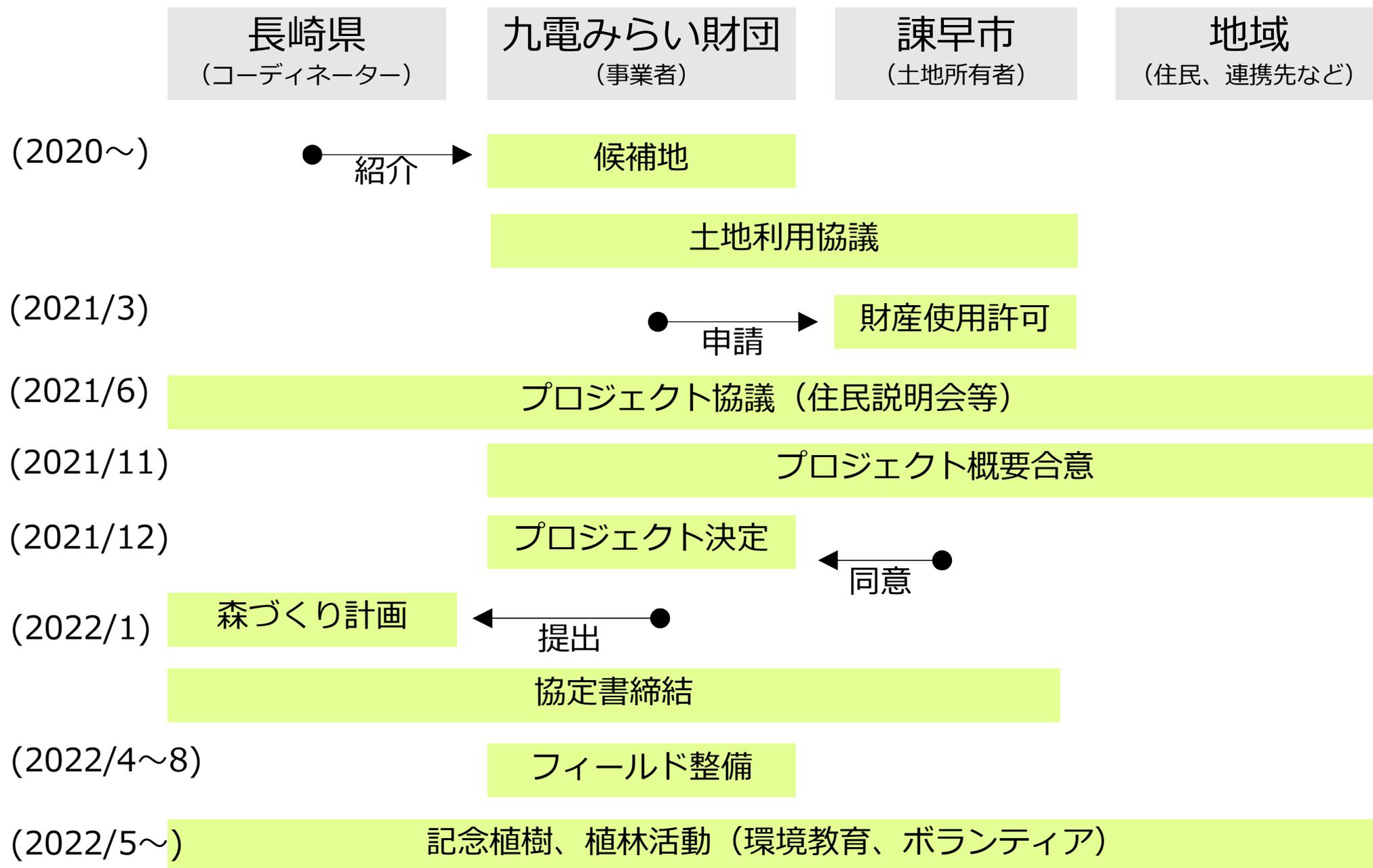
案内サイン



園路



階段



----- 以降、体験型環境教育、地域との協働活動（ボランティア）を実施 -----

- 1 はじめに（財団法人の概要） P 2
- 2 九電みらいの森プロジェクトについて P 7
- 3 候補地選定、決定プロセス P 11
- 4 活動内容 P 16
- 5 今後の展望、課題 P 23

	協定期間			
	R 3	R 4	R 5～R 1 2	R13～
森づくり活動	森づくり協定締結 (2022/1)	植林	育林 フィールド維持管理	
環境教育		植林体験 森林散策	育林体験など森の成長に応じた教育	体験型環境教育 (継続)
対象		諫早市内の小学校	九州西部の小学生 (順次拡大)	同左
地域との協働		植林活動 (ボランティア)	育林活動等 (ボランティア)	同左



ずっと先まで、明るくしたい。

<https://www.kyuden-mirai.or.jp/>



公益財団法人
九電みらい財団
ホームページ



九電みらい財団
Facebook



九電みらい財団
Instagram

